

10/13-19#29私たちが聖別の中で責められるところのないものにされる要因と、私たちが、私たちの霊と魂と体において完全に聖別される要因:1. 私たちは、召会生活のための聖なる生活をするために、主が私たちの心を堅固にし、聖別の中で責められるところのない(私たちの聖別の中で何の欠点もない)ものにしてくださることを必要とします。1テサロニケ3:13 どうか、私たちの主イエスが、彼のすべての聖徒と共に来臨する時、私たちの神また父の御前で、あなたがたの心を堅固にし、聖別の中で責められるところのないものにしていただきますように。A心は、人の内側の各部分の集合体、人の総代表であって、人の行動の機関です。1 私たちの心は、私たちの魂のすべての部分、思い、感情、意志と、それに加えて私たちの霊の一部分、良心で構成されています。ヘブル10:22 私たちの心はすすがれて邪惡な良心から離れ、2 私たちの心と神の御前での私たちの心の状態は、神の御前での私たちの霊、魂、体の状態と、有機的で、内在的で、分離することのできない関係にあります。a 私たちの心が活動しているときはじめて、霊を活用することは役に立ちます。もし人の心が無関心であるなら、霊は内側に閉じ込められており、その能力を発揮することができません。b 魂はパースンそのものですが、心は行動におけるパースンです。心は、私たちの全存在の行動の機関、行動の執行者です。c 私たちの物質の体の活動と行動は、私たちの物質の心(心臓)に依存しています。同様に、私たちの日常生活、私たちが活動し振る舞う方法は、私たちがどのような心理上の心を持っているかにかかっています。B心は、命の入り口と出口であり、命の「スイッチ」です。もし心が正しくなければ、霊の中の命は妨げを受け、命の法則は自由に妨げなしに働くことができず、私たちの存在のあらゆる部分に到達することはできません。命は大きな力を持っていますが、この大きな力は私たちの小さな心によってコントロールされます。箴言4:23 何ものにもまさってあなたの心を見守れ。そこから命の流れが出てくるからである。エゼキエル36:26 私はまた、あなたがたに新しい心を与え、新しい霊をあなたがたの内に置く。私は石の心をあなたがたの肉から取り去り、あなたがたに肉の心を与える。C神は変わることはない方です。しかし、私たちの天然の誕生によれば、私たちの心は、人との関係においても主との関係においても、変わりやすいのです。D天然の、人の命によれば、心が確固としている人は一人もいません。私たちの心はとても容易に変わるもので、それは全く信頼に値しません。E 私たちの心が責められるのは、それが変わりやすいからです。変わることはない心は、責められるところのない心です。詩篇57:7 神よ、私の

心は定まりました。私の心は定まりました。私は歌い、詩篇を歌います。F 神の救いにおいて、心が更新されることは一度で永遠のことです。しかしながら、私たちの経験において、私たちの心は絶えず更新されます。なぜなら、それは変わりやすいからです。G 私たちの心は変わりやすいので、聖別する霊によって絶えず更新される必要があります。それによって私たちの心は、聖とされる状況の中で、神へと分離され、神によって占有され、神によって所有され、神で浸透される状況の中で、堅固にされ、建て上げられることができます。H 私たちは、召会生活のための聖なる生活をするにおいて「聖別されつつある者たち」となるために、「聖別する」方の内なる働きと協力して、私たちの心に対処しなければなりません。1 神は、私たちの心が柔らかいことを願っています。2 神は、私たちの心が純粋であることを願っています。マタイ5:8 心の純粋な人たちは幸いである。彼らは神を見るからである。3 神は、私たちの心が愛する心であることを願っています。4 神は、私たちの心が平安であることを願っています。I 私たちの心が、聖別する霊の絶え間のない更新によって堅固にされ、聖別の中で責められるところのないものにされつつある時、私たちは、神聖な命の新しさを持つ新エルサレムになりつつあり、また神聖な性質の聖を持つ聖なる都になりつつあります。II. 神は、彼の法理的な贖いにおいて、キリストの贖う血によって、私たちを地位において聖として、彼ご自身へと分離しただけでなく、また彼の有機的な救いにおいて、彼ご自身の聖なる性質によって、私たちを性情において聖化して、彼ご自身で浸透しつつあります。1テサロニケ5:23 そして平和の神ご自身が、あなたがたを徹底的に聖別し、あなたがたの霊と魂と体とを守って、私たちの主イエス・キリストの来臨の時に、完全で責められるところのない者にしていただきますように。A 神が私たちの霊、魂、体を性情において聖化することは、私たちを神聖に「息子化」して、私たちを神の子たちとすることです。それは私たちが、神格においてではなく命と性質において神と同じになるためであり、それによって私たちは神の表現となることができます。B 神は私たちを聖別することによって、私たちの霊、魂、体の本質において私たちを造り変え、性質において私たちを徹底的に彼のようになります。このようにして、彼は私たちの霊、魂、体を徹底的に完全に守ります。1 量の面では、神は私たちを徹底的に聖別します。質の面では、神は私たちを守って、完全にします。すなわち、私たちの霊、魂、体を守って完ぺきにします。2 神は私たちを守りますが、私たちは責任を担い、率先し、彼の働きと協力して、私たちの霊、魂、体を聖霊の浸透の中に保つことによって守られるようにする必要があります。

ます。5:16 いつも喜んでいなさい。17 絶えず祈りなさい。18 あらゆることで感謝しなさい。なぜなら、これがあなたがたに対する、キリスト・イエスにある神のみこころだからです。19 その霊を消してはいけません。**c** 私たちは神と協力して、聖別の中で私たちの霊を守るために、私たちの霊を活用することによって、私たちの霊を生き生きとした状態に保たなければなりません。**1** 私たちの霊を守るために、私たちは霊を活用して神と交わりを持つことによって、私たちの霊を生き生きとしたものに保たなければなりません。もし私たちがこのように霊を活用しないなら、私たちの霊を死んだ状態の中にとどめておくことになります。**a** 喜び、祈り、感謝することは、私たちの霊を活用することです。私たちの霊を守ることは、まず私たちの霊を活用して、私たちの霊を生き生きとしたものに保ち、私たちの霊を死の中から引き出すことです。**b** 私たちは聖別する神と協力して、霊を死なせる状況から分離される必要があります。**c** 私たちは、私たちの霊の中で、また私たちの霊を用いて、神を礼拝し、神に仕え、神と交わらなければなりません。私たちであるすべて、私たちが持っているすべて、私たちが行なうすべては、私たちの霊の中になければなりません。**2** 私たちの霊を守るために、私たちの霊をあらゆる汚れと汚染から逃れさせる必要があります。**3** 私たちの霊を守るために、私たちは自分自身を訓練して、神と人に対して、とがめのない良心を持たなければなりません。**4** 私たちの霊を守るために、私たちは自分の霊に注意を払い、思いを霊に付け、私たちの霊の中の安息を顧慮しなければなりません。**d** 私たちは神と協力して、聖別の中で私たちの魂を守るために、私たちの心理上の心の三つの主要な「動脈」、私たちの魂の各部分である私たちの思い、感情、意志を清めなければなりません。ピリピ2:13 なぜなら、神の大いなる喜びのために、願わせ働かせるのは、あなたがたの内で活動する神だからです。**1** 私たちの魂が聖別されるために、私たちの思いは更新されてキリストの思いとならなければならず、私たちの感情はキリストの愛で触れられ浸透されなければならず、私たちの意志は復活したキリストによって征服され、復活したキリストを注入されなければなりません。そして私たちは自分の全存在をもって主を愛さなければなりません。ローマ12:2 思いが新しくされることによって造り変えられなさい。それは、何が神のみこころであるか、すなわち何が善であって、喜ばれ、完全なものであるかを、あなたがたがわかまえるようになるためです。マルコ12:30 心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、主であるあなたの神を愛しなさい。**2** 私たちの心理上の心の三つの主要な動脈を詰まらせているものを取り除く方法は、主

に対して徹底的な罪の告白をすることです。私たちは一定の時間、主の御前にとどまって、私たちを完全に光の中へともたらせてくださるよう主に求める必要があります。そして、彼が暴露してくださることの光の中で、私たちは自分の欠点、失敗、敗北、誤り、悪事、罪(複数)を告白する必要があります。**a** 私たちの思いという動脈を詰まらせているものを取り除くために、私たちは自分の思想や考え方において罪深いすべての事を告白する必要があります。**b** 私たちの感情という動脈を詰まらせているものを取り除くために、私たちは、自分の喜びや悲しみを表した方法が天然的であり肉的でさえあること、また多くの時、私たちは愛すべきものを憎み、憎むべきものを愛していることを、告白する必要があります。**c** 私たちの意志という動脈を詰まらせているものを取り除くために、私たちは自分の意志の中にある反逆の病原菌を告白する必要があります。**d** 私たちは、十分な時間を費やして、私たちの心理上の心の三つの主要な動脈を詰まらせているものを取り除くなら、自分の全存在が生き生きとして、とても健康な状態にあるという感覚を持つでしょう。**3** 私たちは神と協力して、聖別の中で私たちの体を守るために、私たちの体を彼にささげなければなりません。それは私たちが召会生活のための聖なる生活をし、からだの生活を実行して、神の完全なみこころを遂行するためです。ローマ12:1b あなたがたの体を、神に喜ばれる、聖なる、生きた犠牲としてささげなさい。それが、あなたがたの理にかなった奉仕です。**1** 私たちの墮落した体、肉は、サタンと罪と死の「集会所」です。しかし、キリストの贖いによって、また父と子と霊の「集会所」としての私たちの再生された霊において、私たちの体はキリストの肢体であり、また聖霊の宮です。**2** 私たちの体を守ることは、私たちの体において神の栄光を現すことです。**3** 私たちの体を守ることは、私たちの体においてキリストを大きく表現することです。**4** 私たちの体を守るために、私たちは自分の魂、古い人にしたがって生活してはなりません。このようにして、罪の体は失業し、解雇されます。**5** 私たちの体を守るために、私たちは自分の体をどのような罪深いものにもささげてはなりません。かえって私たち自身を奴隷として義にささげ、私たちの肢体を義の武器としてささげなければなりません。**a** 1テサロニケ4:3 あなたがたの聖別、これこそ神のみこころです。すなわち、あなたがたが淫行を断ち、**4** めいめい、自分の器をどのように聖別と誉れの中に保つべきかを知って」。**b** 神を知らないことが、人が情欲の激情にふける基本的な原因です。**6** 私たちの体を守るために、私たちは体を打ちたたき、体を奴隷とならせ、私たちの聖なる目的を成就して、聖なる都とならなければなりません。